

# 令和2年度活動報告書



『アーティストと子どもたちとの合作』



特定非営利活動法人  
**トルシーダ**



# 令和2年度実施事業



誰もがあたりまえに学べる社会、  
普通に暮らせる社会を目指す

## 外国籍の青少年への居場所提供事業

- 日本語教室 CSN
- みよしJSL教室(おかよし&なかよし)
- 安城初期指導教室
- 土曜日教室
- 高校生サポート教室
- ほみっこサロン

## 日本語教育事業

- 駅前日本語教室
- 作文教室
- 教科サポート教室
- 外国人就労支援中級・初級日本語教室
- プレスクール きらきら
- プレスクール ぴかぴか
- プレスクール 幸田
- 日本語指導者の研修
- プライベートレッスン

## 情報提供事業

## ネットワーク事業

- キャリア教育と進路サポート
- 翻訳・通訳業務
- 地域づくり事業(保見プロジェクト)

torcida



# トルシーダの学習者

## 国別内訳

	ブラジル	ペルー	中国	フィリピン	ネパール	ベトナム	日本	その他	合計
CSN	25	1	－	1	2	－	－	1 ※1	30
みよしJSL	28	2	－	6	－	－	－	5 ※2	41
安城初期指導教室	12	2	2	7	3	－	－	16 ※3	42
土曜日教室	13	3	4	2	1	－	－	5 ※4	28
高校生教室	11	－	－	1	1	－	－	－	13
ほみっこサロン	18	－	－	－	－	－	－	－	18
駅前日本語教室	3	1	2	1	4	－	－	1 ※5	12
作文教室	3	1	2	1	2	－	－	1 ※6	10
教科サポート教室	3	1	2	1	2	－	－	1 ※7	10
中級日本語教室	9	1	3	1	1	3	1	2 ※8	21
初級日本語教室	47	3	－	－	－	－	－	－	50
プレスクール豊田	30	3	1	2	－	－	－	1 ※9	37
プレスクール岡崎	10	－	－	－	－	－	－	－	10
プレスクール幸田	4	1	－	－	－	1	1	－	7
合計	216	19	16	23	16	4	2	33	329

- ※1 スリランカ
- ※2 スリランカ/インド
- ※3 スリランカ/インド/インドネシア/バングラデシュ
- ※4 スリランカ/インドネシア
- ※5 スリランカ
- ※6 スリランカ
- ※7 スリランカ
- ※8 スリランカ/インドネシア
- ※9 モンゴル





6歳 小学校入学前の年長児

7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

16歳～18歳 高校生

19歳～ 大学生／社会人

## 年齢別内訳

	6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳～	合計
CSN	—	3	8	17	2	30
みよしJSL	—	20	21	—	—	41
安城初期指導教室	—	34	8	—	—	42
土曜日教室	—	1	16	11	—	28
高校生教室	—	—	—	13	—	13
ほみっこサロン	—	18	—	—	—	18
駅前日本語教室	—	—	—	11	1	12
作文教室	—	—	—	9	1	10
教科サポート教室	—	—	—	10	—	10
中級日本語教室	—	—	—	1	20	21
初級日本語教室	—	—	—	1	49	50
プレスクール豊田	37	—	—	—	—	37
プレスクール岡崎	10	—	—	—	—	10
プレスクール幸田	7	—	—	—	—	7
合計	54	76	53	73	73	329

## 日本語能力試験合格者

N1	N2	N3	N4	N5
—	1	—	3	1



# 日本語教室CSN

【委託】豊田市外国人の子どもの社会適応サポート事業  
 【場所】豊田市保見団地内  
 【期間】通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00 223日  
 【対象】不就学、ブラジル人学校児童生徒、※学齢超過

日本の学校に通っていない子どもたちの居場所。友達を作り、日本のことを知り、将来のことをいっしょに考えながら日本語の基礎をしっかりと学ぶ教室。体験的な活動もたくさん取り入れ、実践的に学んだり、社会について知る機会もつくる。学校に通っていない子は一日、ブラジル人学校生は学校に行く前や後の時間を利用して教室に通う。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

16歳～18歳 高校生

特別授業

課外活動

4月

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休講措置

オンライン授業

5月

田植え

6月

マクドナルドで注文しよう！  
畑作業(週2回)

7月

パソコン講座(週1回)

8月

リサイクルステーション実習

進路ガイダンス①

9月

豊田市駅周辺探索

健康相談会①

進路ガイダンス②

10月

芋ほり

健康相談会②

防災・防犯カルタ作り

11月

救命救急講習

留学生との意見交換

12月

トヨタEX会清掃活動

1月

2月

3月

トヨタEX会意見交換&スポーツ

※学齢超過

日本の法律に規定されている義務教育年齢を過ぎている状態



いろいろな言葉話を話す子どもたちが集まって、皆で日本語や社会について勉強できたとても楽しい教室でした。子どもたちの成長も感じられて、最後には「楽しかった！」の声が聞けて嬉しかったです。(スタッフ)

日本語の授業以外にも工作、実験、運動、畑作業など、楽しみながら日本語を学習できる教室で、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。日本語レベルに差がある子どもたちが一緒に勉強するのは大変なこともありましたが、他のスタッフとも協力して皆が楽しく学べるように努めました。(スタッフ)

成果と課題

子どもたちの国籍や年齢、日本語レベルは様々でしたが、皆が一緒に勉強する教室作りをしたところ、子どもたち同士で教えあったり、指導者を助けてくれたりと、子どもたちそれぞれが自分の居場所を見つけ、得意なことなどを発揮できる場になったことが最大の成果です。来日間もない子、ブラジル人学校に通っている子、不登校気味の子、次の進路に迷っている子など、外国籍で目に見えない存在へと追いやられてしまう子ども若者を受入れ、相談できる場、繋がれる場を日本語教室を通して継続していくことで、子どもたちが自分で気づき自分で進路を決めていく様子を今後も見続けていきたいと思えます。日本語を必要としない生活環境に置かれている子どもたちにとっては、日本人や日本社会と接することで、彼らが日本に興味を持ち、日本語を学ぶモチベーションとなるような教室運営をしていくことが難しく、子どもたちの気持ちに寄り添い、必要な情報提供をし、日本語学習に繋げることで地域とも繋がり、日本人の知り合いを増やす等居場所としての日本語教室の役割を実行していくことが課題です。

# 学齡超過の高校進学サポート

## 駅前日本語教室 作文教室 教科サポート教室

【助成】公益財団法人ウェスレー財団

【助成】愛知県日本語学習支援基金

【場所】トルシーダ事務所内/豊田産業文化センター内

【期間】通年 月曜日～金曜日 10:00～14:10 全174日

【対象】学校へ行っていない高校進学希望者



義務教育年齢を過ぎて来日した子どもたちや、日本の中学を卒業したものの日本語に不安がある子どもたちの高校進学を応援する教室。仲間とともに学ぶ楽しさを感じながら基本的な日本語を身につけるところからはじめ、徐々に学習言語に繋げていき、日本の高校で学ぶための準備をする。月曜日は作文と教科に重点を置いて学習する。

オンライン授業

4月

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休講措置

6月 対面授業スタート

数学は九九から  
英語は英単語から

7月 進路ガイダンス

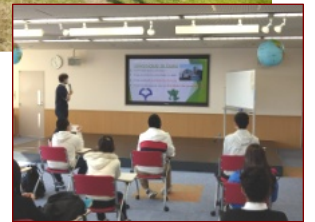
10月 教科学習強化塾スタート

11月 高校見学・説明会

12月 保護者面談、進路決定  
入試対策強化

2月 高校願書提出

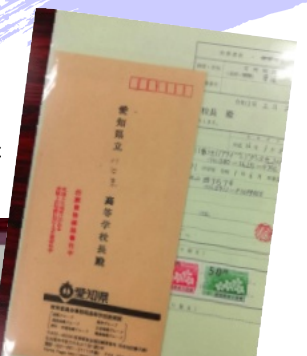
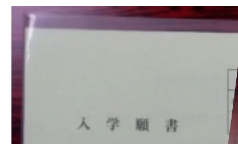
3月 高校受験/合格発表



全員が第一志望に合格できたときは、本当にホッとしました。コロナ禍で皆大変でしたが、誰ひとり欠けることなく乗り切ることができました。一番頑張ったのは子どもたちですが、熱心なボランティアの支えも心強かったです。(スタッフ)

中学夜間学級進学	全日制高校進学	昼間定時制高校進学	夜間定時制高校進学	帰国
-	4	3	2	-

入学願書と成績証明書を高校に提出します



「合格しました！」

### 成果と課題

高校進学希望者全員が第一希望の学校に進学できました。スタート直後に教室が休講になりましたが、4、5月のオンライン授業、6月の対面授業開始から3月まで全員勉強を続けることができました。コロナの影響で欠席をした子どもへもオンラインに切り替えたり、宿題を郵送したりして対応することができました。しかし、初めてのオンライン授業は分かりづらかったという声もあり、今後はオンライン授業の作り方を考えていく必要があります。また、きめ細かなレベルに合わせた指導ができなかったことも課題です。

## プレスクール きらきら

【委託】豊田市教育委員会委託豊田市プレスクール開催業務  
 【場所】豊田市立西保見小学校内／豊田産業文化センター内  
 【期間】10月～3月 月曜日・木曜日・土曜日 全30回  
 【対象】豊田市内の外国人年長児

日本語ゼロの子も日本語に不自由のない子と一緒に学び、小学校入学の準備をする教室。ひらがなの学習、絵本の読み聞かせ、工作等を行った。



6歳 小学校入学前の年長児

読み聞かせ『えらいえらい』  
日本語ポルトガル語スペイン語で。



教室で使う物を入れる道具の袋  
感染対策にも気を付けました。



ひらがなの書き順の練習  
毎回、一文字ずつゆっくりと。



毎回、指導内容を黒板の横に書き、やっていることやトイレに行くタイミングが分かるようにしたところ、驚くことに、できなかった項目について子どもから指摘が入ることもありました。見通しを持たせることに効果があることを実感しました。

学校の体育館で基本動作やゲーム。  
指示を聞ける子が多く、初めてサッカーのゲームができました。



### 生まれた国

日本	ブラジル	中国	ペルー	フィリピン	モンゴル	回答なし	合計
14	15	1	3	2	1	1	37

### 家庭で使う言葉

日本語	ポルトガル語	ポルトガル語&日本語	スペイン語&日本語	英語&フィリピン語	回答なし	合計
2	21	1	2	2	9	37

### 成果と課題

西保見小学校の教室では、日本語の語彙力が全体に高いことがひらがなの習得につながり、2回目の語彙調査では6名が読めるようになっていました。日本生まれ、日本育ちがほとんどで、「外国人児童」ではなく、複数の文化・言葉を持つ児童という視点がますます求められていることを感じます。産業文化センターの教室では、離席が目立つ子もいましたが、一対一の対応をすることで活動に参加できることが増えました。コロナ感染防止のため保護者の見学がなかったことも教室の様子の変化に影響があったと思います。



## プレスクール ぴかぴか

【委託】岡崎市プレスクール開催業務  
 【場所】岡崎市図書館交流プラザりぶら内  
 【期間】2月～3月 全5回  
 【対象】岡崎市内の外国人年長児

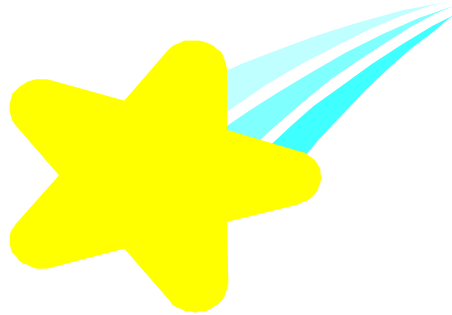
## プレスクール 幸田

【委託】幸田町地域日本語教育推進事業委託業務  
 【場所】幸田町中央公民館内  
 【期間】2月～3月 全5回  
 【対象】幸田町内の外国人年長児

小学校へ入学する準備として、文字や言葉の学習を行う。集団で学ぶことを経験する。



6歳 小学校入学前の年長児



### 学習内容(幸田)

	主な目的	内容
1回目	プレスクールに慣れる	挨拶、返事、50音表を見る、鉛筆の持ち方、運筆、ひらがなの書き順、並んで歩く、数字の読み方
2回目	ひらがなの学習を始める	あ行の言葉と文字、音韻、体の名称(歌)、「何ですか」応答練習、はさみ、のりの使い方
3回目	言葉を覚える 言葉遊びを楽しむ	あ行とか行の言葉と文字、色と形、絵本を楽しむ
4回目	言葉を覚える 言葉遊びを楽しむ	あ行とか行の言葉と文字 しりとり、ソーシャルスキル(いい、だめ)、学校の持ち物 修了式
保護者向け	講演「外国につながる子どものことばの役割」 愛知淑徳大学 鈴木崇夫氏	多言語で育てるための家庭での役割について専門家の話と意見交換

※内容は愛知県プレスクールマニュアルを参考

※毎回、読み聞かせを行い、絵本の内容と関連付けた活動を行った

### 成果と課題

幸田町で外国につながる子どもの支援が始まりました。初めてのプレスクール開催で、少ない回数ながら関係機関・人の協力で多様な働きかけができ、保護者に対して入学前に必要な情報提供ができました。参加の子どもたちの日本語の語彙能力にはレベル差があったものの、全員がプレスクールに楽しく参加することができました。保護者が熱心に子どもたちを見守る姿も印象的で、多くの保護者が入学後の継続的な支援を求めました。さらに今後は学校と家庭間の連絡についての支援も必要と考えられます。子どもたちが楽しく参加し、プレスクールでの「できた」という自信が小学校の学習を始めるための一助となることを期待しています。

## 初期指導教室 みよしJSL

【委託】みよし市教育委員会委託初期指導教室運営業務

【場所】みよし教育センター学びの森/三好丘小学校内

【期間】通年 月曜日～金曜日 9:00～15:00(祝日と学校休業日は除く)

【対象】みよしの小中学校に在籍する①日本語初期指導を必要とする児童生徒  
②日本語が十分ではなく学習が困難な児童生徒

習熟度と学年を考慮したグループで日本語指導を行う。来日直後は一日をみよしJSLで過ごし日本語を集中的に学ぶ。その後は、学校、保護者と相談しながら半日の通級、週に数回の通級などで学校生活へのソフトランディングを目指す。また、日常会話はできても漢字が分からない、学習用語が入っていないなど学習に困難がある児童生徒へ学習支援を行う。  
学校または家庭からの送迎を行っている。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

### 学習内容

小学校1～2年生	ひらがな、カタカナ 短い説明文やお話の音読 足し算引き算の計算練習 日記、絵本の読み聞かせ等
ビギナークラス	簡単なコミュニケーション 日本について、日本の学校について知る 日本語の積み上げ 音読 日記 ひらがな カタカナ 漢字の導入 計算練習等
日本語初級クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 日記 漢字 体験学習等
中学生クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 漢字 作文 高校受験のための指導等



言葉の壁があるため、能力が発揮できない。日本人生徒とのコミュニケーションも難しい。様々な困難や、もどかしさを抱えている中学生。

あの手この手と苦戦の連続でしたが、少しずつ、壁を乗り越え、前にと進んでいく姿に、励まされた日々でもありました。(スタッフ)

原学級での授業を受けながら通級できる教室で、子どもたちは、「今日の体育は面白かった!」と、「今」感じたことをすぐに伝えてくれます。子どもたちの笑顔と、伝えたい気持ちから言葉が増えていくのがわかって、成長が感じられる一年でした。(スタッフ)

### 成果と課題

はじめは先生の指示もわからず、バイリンガル指導員やお友達に頼りきりだった子が、日本語や学校生活のことがわかるようになって自信をつけていく姿は、とても力強く頼もしいです。一方で、出席が安定しない児童生徒への対応の難しさを感じます。バイリンガル指導員が学校の保護者面談での通訳時に教室での様子を伝えるなどして、つなぎ役になっています。なかよし教室、おかよし教室と教室が二か所になり、指導体制を構築しながらの運営でした。今後は指導者養成を実施していきたいと考えています。

## 安城市 初期指導教室

【委託】日本語初期指導教室業務委託

【場所】安城市立今池小学校、二本木小学校内

【期間】通年 月曜日～金曜日 8:00～15:00

【対象】安城市の小中学校に在籍する児童生徒のうち日本語初期指導を必要とする者

日本語ゼロの児童生徒に対して、二本木小学校と今池小学校の2か所で日本語の初期指導を行った。小学1年生～中学3年生までを3グループに分け、指導を行った。児童生徒は、保護者の送迎か、自転車で通級する。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生



どちらの教室にも、学習困難の原因について、日本語の問題だけではなく不適応、生活環境、発達の問題等が重層的に見られる子がいて対応に苦慮しました。入室の問合せだけあり、結局1度も来室しなかったケースもありました。その都度スタッフで協議して、受け入れ方を検討しました。(スタッフ)

### 成果と課題

コロナ禍で新規入室が少なく、在籍期間が4ヶ月～6ヶ月と長めになり、基礎的な力を付けるために必要な日本語について学習することができました。受け入れ期間は概ね3ヶ月を目安にしていますが、3ヶ月では最低限と言えるレベルまで指導できないケースもあり、柔軟な受け入れが求められます。また、送迎がないため、子どもたちは通級できる学区や期間が限定されてしまう問題もあります。二教室それぞれ週に1回、ポルトガル語とタガログ語の通訳さんが来ますが、どのように関わってもらうのがいいのか模索中です。

# ユラム



## トルシーダでボランティアを志したきっかけ

外国人児童生徒のサポートを行うボランティアをしたいと思ったのは、中学3年生の夏、外国から来た友達との出会いが大きく影響しています。言葉が伝わらない中でも、習った英語を必死に使い、コミュニケーションを図った経験があったからこそ、海外や語学に興味を持つことができた現在があります。その友達との関わりでは、言語、文化、思想、習慣全てが新鮮で、閉鎖的とも言える学校生活で私自身の世界が広がった様な気がしました。日本という慣れない環境の中でも、懸命に学ぶ姿勢から影響を与えてもらったのは私の方でした。

私は日本の教育で育った日本人として、海外からくる生徒と学生時代に出会いましたが、私達自身も彼らの状況や直面する課題を理解し、学びやすい環境を一緒に作っていく姿勢が必要だと考えています。それに対して、少しでも力になればと思います。思いボランティアを行なっています。

## トルシーダで外国の子どもに教える様になって気づいたこと

子ども達との関わりを通して、日本語での学習が困難という課題は氷山の一角だということに気がつきました。例えば、学校での集団生活や人間関係、高校進学のことや将来への不安。また、家庭環境等や学習に対するモチベーションの維持など様々です。生徒一人一人に寄り添いサポートをするトルシーダの指導者の姿を見て、生徒にとってトルシーダが安心できる居場所になっていると思いました。

私も、「日本語を教える」ことだけに集中するのではなく、日本語でのコミュニケーションの楽しさや、安心感を実感してもらえる様に接することを意識しています。

## 今、トルシーダで勉強している外国の子ども達へのメッセージ

馴れ親しんだ地を離れ、新たな環境に飛び込むことは勇気のいることです。皆さんは日々、挑戦を続ける素晴らしい人達だということを忘れないでほしいです。私が中学生の時、トルシーダで学ぶ学生を見て奮い立たされた様に、皆さんの存在が他の誰かの新たな発見や学びにつながる可能性があります。そして、皆さんは一人じゃないということを伝えたいです。皆さんの人生を真剣に考え、支えになってくれる存在がいるということを決して忘れないでください。

トルシーダでの経験が、いつか皆さん自身の将来と、他の誰かに力を与えることを願っています。

大学生ボランティア

花田 果林



## 日本語学習支援 土曜日教室

【助成】愛知県日本語学習支援基金

【場所】豊田産業文化センター内

【期間】毎週土曜日 10:00~12:00 全42回

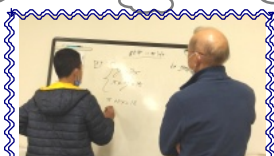
【対象】中学生及びブラジル人学校生、学齢超過

日本の中学校やブラジル人学校に在籍する生徒や高校に進学したい学齢超過者が、日本語を勉強したり学校の宿題をしたりする学習支援教室。



13歳~15歳 中学生

16歳~ 学齢超過



### 成果と課題

日常会話は話せるものの学習言語が身につけていない外国人生徒に対して1対1で教科学習サポートを行い、基礎的な計算力や英文法が身につきました。高校進学を目指す中3や学齢超過者には12月から志望校の受験科目に応じた受験指導を行い、全員第一志望校へ合格できました。ボランティアスタッフが多数参加してくれたおかげで、日本語を学びたい中学生にレベルに応じた日本語指導を行うことができました。コロナウイルス感染拡大に伴い、教室に来たくても来られない学習者に対してオンラインによる学習サポートを行いましたが、対面の教室の音声が入ってうまく実施できませんでした。従来の対面による指導とオンラインは切り離れたオンラインサポート体制の構築が今後の課題です。また、中3だけれど日本語に不安があるため高校進学せず日本語を学びたいと来室した生徒が4名いました。もっと早い時期から中学校以外でも日本語指導を受けていれば、日本語を習得して高校進学という進路選択もあったはずで、地域の中学校へ同教室の周知広報活動に力を入れなければならないと感じました。



## 日本語学習支援 高校生サポート教室

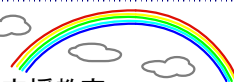
【助成】愛知県日本語学習支援基金

【場所】豊田産業文化センター内

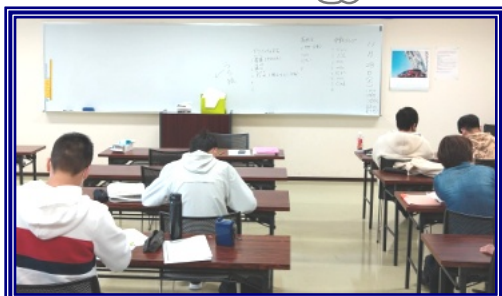
【期間】毎週土曜日 13:00~15:00 全42回

【対象】高校生

日本の高校に在籍する高校生が、日本語を勉強したり学校の宿題をしたりする学習支援教室。



16歳~18歳 高校生



中学生からずっと通ってがんばって高校へ入ったもののついていけず中退をしてしまう子、中学校で色々なことに不安を抱えながら精一杯がんばって高校入学後にクラス1位をとるまでに頑張った子。高校で日本語が理解できないため教科学習に苦労している子。十人十色の状況に常に答えられる居場所としての教室でありたいと思っている。(スタッフ)

### 成果と課題

日本語が十分ではない高校1年生、学習が苦手な1年生、それぞれのニーズに合ったきめ細やかな支援を行い、ときには学校生活などの相談にも対応しました。高校入学後は不安を解消するために教室に通ってきただけで、次第に回数も減り、来室するのは定期試験前後のみとなっていきました。高校入学という目標を達成してからいかに早く卒業後の自分をイメージし、すべき事を具体的に整理し、モチベーションとして持続させること、適切な支援を心がけていきたいです。



## 外国人就労支援 中級日本語教室

【委託】豊田市外国人就労支援業務

【場所】豊田高等職業訓練校内

【期間】①日本語教室 6月～1月 月曜日～金曜日 10:00～15:00

②就労支援 通年

【対象】就労を希望する16～45歳

就労を希望する16歳から45歳までの若年層の外国人が、就労につながる丁寧な会話、中級前半レベルの漢字や文法を学び、日本語能力試験N3合格を目指す。また、就労に必要な知識や履歴書の書き方、面接などの就労支援セミナーを開催。職場見学や職場体験も実施し、どんな仕事が自分に向いているかを考え、ミスマッチのない就労を目指す



12名就労!!

愛知県内のブラジル人学校や母国の高校を卒業後、日本語を学んで正規就労につきたいという学習者を5名受け入れた。みな、入室当初は自分が何をやりたいかわからないと言っていた。しかし毎日日本語を学びながら自分のキャリアについて考えた結果、履歴書を自分で作成し面接に挑んで就労に一步踏み出した学習者もいれば、就きたい仕事には学歴が必要だと考え専門学校や大学進学を選択した学習者もいた。中級日本語教室での学びがキャリアの選択肢を広げるきっかけになってよかったと思う。(スタッフ)

就労支援セミナー



職場体験

### 成果と課題

日本で長年働いたことがある人でも、丁寧な日本語が使えなかったり、意味を間違えて覚えていたりして職場でギクシャクした経験がある人は少なくなく、場面に応じた適切な日本語を使えるようになり、面接を受けて新規就労した人が7人いました。また、日本語能力試験N4に3人、N3に5人、N2に2人合格できました。また、ハローワークと協働で就労支援セミナーを2回開催することができました。コロナウイルス感染拡大の影響で職場見学や職場体験の機会が減少したため、自分の適性について考える機会を提供できませんでした。

## 外国人就労支援 初級日本語教室

【委託】豊田市外国人就労支援業務

【場所】豊田市保見団地内

【期間】6月～12月 火曜日・水曜日 7:00～8:30/19:00～20:30

全136回

【対象】就労を希望する16～45歳

就労を希望する16歳から45歳までの若年層の外国人が、ブラジル人指導者のもとで、就労につながる丁寧な会話、ひらがなやカタカナ、初級レベルの会話を学ぶ。また、就労に必要な知識や履歴書の書き方を学ぶ就労支援セミナーも開催。

6月

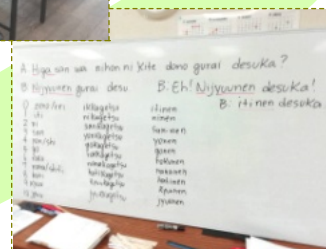


開講式

7月



教室の様子



朝7時～/夜7時～ 生活スタイルに合わせて学べます!

指導者はブラジル人!

12月



閉講式

仕事の後でも勉強に来ていた方が何人もいました。「このままではだめ」、「日本語がもっと上手に話せるようになって色々な機会をつかもう」と自分の現実を変えようとする方が結構いました。力をもらったり、一緒に笑ったり、とてもやりがいがある教室です。(スタッフ)

### 成果と課題

日本で長年働いている人でも日本語を学ぶ機会がなかったため、ひらがなが全く読めなかったり、自己紹介もできないことが多く、そうした外国人を対象に週2回の初級日本語教室を初めて開催しました。ブラジル人の指導者がポルトガル語で説明したり、質問を受けたりと、学習者が安心して学習できる教室にできたことが成果です。コロナ禍でしたが、ハローワークと協働で就労支援セミナーを2回開催することもでき、学習者からは、日本語で面接をし仕事に就くことができた、仕事の指示をわかるようになった、敬語を使えるようになったという声を聞くことができました。二交代で働く学習者の進捗に影響がないように教室は二部制にしましたが、残業等で時間帯が合わなくなったり、日が短くなると来なくなる傾向があったりして、働きながら学習できる環境の整備と、自宅でも学習ができるリモート授業の提供が今後の課題です。

# 在日ブラジル人支援活動 ほみっこサロン

【助成】三井物産㈱

【場所】豊田市保見団地内

【期間】10月～12月 全18回

【対象】学習者:5～7歳 / 指導者16～18歳

ポルトガル語が話せる高校生、大学生を指導者として、小学1、2年のブラジル人児童を対象に教科学習の補習、母語での読み聞かせなどを行った。また、来春小学校入学予定者を対象にひらがな、数字、学校のきまりなど小学校へ入学するための準備を行った。

7歳～12歳 小学生



日本語が得意でない子どもたちなので、わかりやすい言葉を選びながら勉強を教えることが難しかったです。しかし、子どもたちが「楽しかった!次はいつ?」と言ってくれることに、大きなやりがいを感じました。

## 学生ボランティアの声

初めは手探りで始めたため、うまく教えられるか不安でしたが、徐々に子どもたちが私たちを自身のお兄さん・お姉さんのように頼ってくれるようになり、嬉しかったです。



### 成果と課題

今年参加した子どもから、国語がわかるようになりたい、算数のここがわからないから教えてほしいと言う声が多く、教科書を持参してきました。文が読めても書けない、意味がわからない子どもには、指導者と意味を確認しながら取り組むことができました。しかし、ブラジル人の高校生、大学生指導者からは、日本の教え方がわからない、日本語が不安との声もありました。指導者も2つの言語を伸ばしていく環境をどうやって作っていくかが課題です。



# 地域づくり事業 保見プロジェクト

【助成金】(一財)中部圏地域創造ファンド  
「NPOによる協働・連携構築事業」  
【場所】豊田市保見団地とその周辺地域  
【期間】2020年4月～2023年3月  
【対象】地域住民



2019年度のHOMIアートプロジェクトを発展させ、2019年度休眠預金活動事業助成金を活用し、3年かけて住民と一緒にテーマに取り組み、住民が主体となって住みやすい団地を作っていく手助けをする事業。



## みんなで暮らす住みよい団地 Um HOMIDANCHI melhor para todos!



### プロジェクト実行団体

- ◆ 県営保見自治区
- ◆ 中京大学
- ◆ NPOトルシーダ
- ◆ 外国人との共生を考える会
- ◆ 愛知県県営住宅自治会連絡協議会



### 取り組むテーマ

- 1 ゴミ
- 2 子育て
- 3 高齢者
- 4 防災
- 5 団地自治

### ゴミ問題の解決に向けて



### 集会所を居場所・交流拠点に!



### コロナで「まずインタビュー」は叶わなかったが



- |   |          |                   |
|---|----------|-------------------|
| 1 | 5/30(土)  | 県営集会所清掃           |
| 2 | 5/31(日)  | お菓子配布&定額給付金申請書手伝い |
| 3 | 7/5(日)   | 七夕まつり             |
| 4 | 10/11(土) | ソーネおおぞね視察         |
| 5 | 12/19(土) | アートワークショップ        |
| 6 | 3/27(土)  | 春祭り               |
| 7 | 毎週金曜日    | 卵配布&朝ごはん子ども食堂     |

※その他、住民アンケートや食糧支援などを行いました。



食料支援

### 3. たなばたの願い



### 5.6. 手作りマスクとビンゴ大会



### 7. 卵配布 & 子ども食堂



# 新型コロナウイルス 感染拡大に対する支援活動

## 三菱財団×中央共同募金会

～新型コロナウイルス感染化において困窮する人々を支援する～



新型コロナウイルス感染下における  
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

三菱財団 × 中央共同募金会

1. オンライン日本語教室
2. オンライン医療健康相談会 & 多言語による情報、生活、教育相談
3. 配食活動

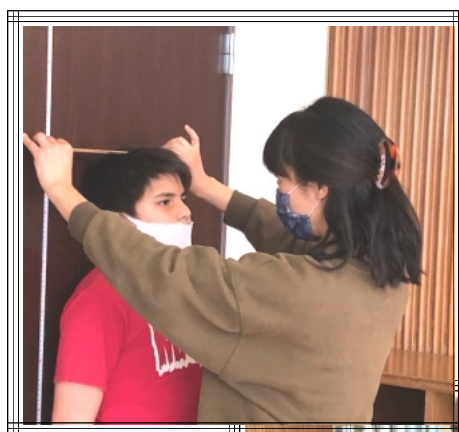
## 一般社団法人生活クラブ福祉事業

～新型コロナ感染拡大による緊急助成～

1. 引取りに来られない家庭への車による配食活動



オンライン授業の準備



医療健康相談会





## 食材・物資のご支援ありがとうございました

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋様  
 特定非営利活動法人フードバンク愛知様  
 生活クラブ生活協同組合愛知様  
 前原農園様  
 豊田市立上鷹見小学校様  
 豊田市立伊保小学校様  
 住民の方々



## その他の活動

●日本語指導者の研修 10月～3月 全6回  
 オリジナルテキスト『こどもたちの日本語』の勉強会を開催

●日本NPOセンター ランドセル寄贈プロジェクト  
 翌年度小学校へ入学する子どもたちにランドセルを寄贈 21名



# 学び直した日本語 今度は同胞に

## 豊田の保見団地 日系ブラジル女性

外国人女性が多く住む豊田市の保見団地で、日本語を学んだ日系ブラジル女性が、今度は同胞に日本語を教える。10代から30代まで幅広い年齢層の女性たちが、保見団地の保見山口ジェシカ小姐から日本語を学んでいる。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

**NPOに参加して 学ぶ意欲強く感じる**

保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年6月30日 朝日新聞

# ひと

## 豊田の保見団地 日系ブラジル女性

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年10月26日 朝日新聞

# 豊田版

## 多文化共生活動思い新た

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年12月5日 朝日新聞

### 広報の記録

# 子ども日本語教室に 感染対策仕切り設置

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年10月11日 中日新聞

# 外国人へ日本語教育 オンラインでも挑戦

## 東海地方の支援団体 シンポジウム

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年12月6日 中日新聞

NHK  
NOS NÃO SOMOS GAIJIN  
私たちはガイジンじゃない  
2.11 [木] NHK 22時20分  
宮藤官九郎 出演 イッセー尾形 豊原玉恵 (語り)

NHKの番組ポスターに保見団地壁画が使われました！

# 共生 協働のヒント

## 多文化共創社会へ

### 「コロナ禍の多文化共創の地域づくり」

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。保見山口ジェシカ小姐は、豊田市の保見団地に住むブラジル人たちに日本語を教える。

2020年8月7日 都政新報





## 2020年度を振り返って

2020年3月11日にWHOにより「パンデミックとみなせる」と発表された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応に追われた1年でした。前年度から続く学校の休校。子どもたちとの関係だけは切れないようにと、宿題を届けたり、人数を制限して通級させたり、リモートの授業を実施したり、ウィズコロナ時代の教室運営を模索する日々でした。6月に「新しい生活様式」を踏まえて徹底した感染拡大防止策の元、学校が再開されましたが、プールもない、遠足もない、そもそも集まれない…子どもたちもスタッフも閉塞感に苛まされました。

時には知人や家族が感染した等、緊張する場面もありましたが、関係機関と密に連絡をとり、適切な対応を取りました。そして、まずは、自分が感染しないこと…

そんな状況でも、おかげで前年度は途中で中止になったプレスクールも予定の回数を実施することができたし、その他の教室も必要に応じてリモートを実施するなどして、無事に年度末を迎えることができました。

また、地域では、解雇や時短による生活困窮が懸念されました。前年度実施したアートプロジェクトを引き継ぐ形で始まった保見プロジェクトの一環で、様々な支援ができたことは、団体にとっても地域と教室をつなぐ新たな展開になり、ウィズコロナ時代の日本語教室の一つのあり方だと感じています。

保見プロジェクトでは、「子ども食堂農園」という新しい活動場所ができました。ここでは教室の中には感じられない、季節の移り変わり、地域の人たちとのふれあい、野菜の成長などを楽しむことができます。加えて、いろいろな人たちとの相互理解は、多文化共生の大切な要素です。

最後になりましたが、今年度は本当に本当に特別なことができました。「博報賞・文部科学大臣賞」の受賞です。活動を振り返る余裕のない私にとって、思ってもみなかったご褒美ですが、これも20数年間頑張ってきたスタッフ、そこで成長した子どもたち、支えてくださった皆さんのおかげと心から感謝しています。受賞を励みに、また次の一歩を踏み出していきたいです。



トルシーダ代表 伊東浄江





## トルシーダ会員の皆様

トルシーダの活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。  
皆様の会費に支えられ、令和2年度も多くの子もたちが日本語を学び、  
進路を見つけて次のステップに進んでいくことができました。  
これからも応援よろしくお願いいたします。

ご寄付を下さったみなさま

オートK・Cカイカワ様

神田すみれ様

瀬瀬智子様

鈴木明子様

東海労働金庫NPO寄付システム(15名)

西本宣義様

松井慎一様

宮崎莉奈様

森田次朗様

(50音順)

多文化社会の明日を日本語で育む

NPO法人トルシーダ

〒471-0034豊田市小坂本町1-4-12梅村ビル3F1

090-6462-3867

torcidajpp@yahoo.co.jp

ホームページ

トルシーダ

